

2025年3月17日

ドキュサイン ジャパン株式会社

## ドキュサイン、「BOXIL SaaS AWARD 2025」 BOXILセクション 電子契約システム部門で1位を受賞

～「BOXIL SaaS AWARD Spring 2025」においても  
「Good Service」「カスタマイズ性No.1」「機能満足度No.1」を受賞～



ドキュサイン・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：竹内賢佑）は、スマートキャンプ株式会社（以下、スマートキャンプ）が主催する「BOXIL SaaS AWARD 2025」BOXILセクション電子契約システム部門で1位に選出されたことを発表しました。

また、同日発表された「BOXIL SaaS AWARD Spring 2025」では、電子契約システム部門において「Good Service」「カスタマイズ性No.1」「機能満足度No.1」の各賞を受賞しました。

### ■「BOXIL SaaS AWARD」とは？

「BOXIL SaaS AWARD」は、SaaS比較サイト「BOXIL」を運営するスマートキャンプが、1年で最も高く評価されたSaaSソリューションを表彰するイベントです。

年1回、「SaaSの日」を記念して発表されるほか、Spring、Summer、Autumn、Winterの四半期ごとに、直近の口コミ評価をもとに優れたSaaSが表彰されます。今回受賞した、BOXILセクション電子契約システム部門1位は、2024年中にBOXIL上へ新たに投稿された口コミ評価の総得点が最も高いサービスに対して付与されました。また、「BOXIL SaaS AWARD Spring 2025」では、以下の基準で各賞が授与されました。

- 「Good Service」賞：BOXIL上の口コミを対象に、各カテゴリで総得点の高いサービスに付与
- 「カスタマイズ性No.1」「機能満足度No.1」賞：BOXIL上の「口コミによるサービス評価」9項目（使いやすさ、お役立ち度、カスタマイズ度、機能満足度、サービスの安定性、営業担当の印象、サポートの品質、初期設定の容易さ、料金の妥当性）をもとに、各カテゴリ、各項目で一定基準を満たし、最も高い平均点を獲得したサービスに付与

### ■ドキュサインの受賞において

ドキュサインは、契約ライフサイクル全体をサポートし、日本企業のビジネス変革や成長に貢献してきました。特に、電子署名を活用した効率的な契約承認プロセスの提供、コスト削減、Salesforceとの高い統合性がユーザーから高く評価され、今回の受賞につながったと考えています。

ドキュサイン・ジャパン株式会社 取締役社長 竹内賢佑は、次のようにコメントしています。

「契約書をスマートに「準備」し、効率的に「締結」し、積極的に「活用」することで、あらゆる企業が契約書の価値を最大限に引き出せるようご支援させていただいています。この度「締結」フェーズにおける我々のDNAである電子署名のジャンルにおいて、このような権威ある賞を受賞した事を、大変光栄に思います。」

### ■詳細情報

各AWARDの詳細および選考基準については、以下をご覧ください。

「BOXIL SaaS AWARD 2025」公式サイト：<https://lp.boxil.jp/saasaward/2025>

「BOXIL SaaS AWARD Spring 2025」公式サイト：<https://boxil.jp/awards/2025-spring/>

また、ドキュサインの口コミ情報はこちら

<https://boxil.jp/service/4665/reviews/>

受賞サービスを紹介した記事はこちら

<https://boxil.jp/mag/a3775/>

## 【ドキュサイン・ジャパン株式会社について】

DocuSign（ドキュサイン）は、合意・契約の変革を推進するグローバルリーダーです。

現在、180カ国以上で150万社以上の企業、10億人を超えるユーザーがドキュサインのソリューションを活用し、ビジネスプロセスの効率化を実現しています。従来、契約文書に含まれる重要なビジネスデータは、基幹システムから切り離されており、時間・コスト・機会の損失をもたらしていました。しかし、ドキュサインが提供する「インテリジェント契約管理システム（IAM）」を活用することで、これらのデータを効果的に活用できるようになります。

ドキュサインは、業界No.1の電子署名および契約ライフサイクル管理（CLM）ソリューションとともに、シームレスな契約文書の準備・締結・活用を実現します。ドキュサイン・ジャパン株式会社は、米国DocuSign, Inc.の日本法人です。